

# オオハンゴンソウの分布状況

## はじめに

例年より早く、平成29年7月26日環境省の提唱で各関係団体が参加して除去作業が行われた。昨年同様、昆沙門沼周辺ではなく蛇平橋～諸橋美術館まで長瀬川に沿って根からの引き抜きでの除去作業となった。

裏磐梯地内の調査については8月2日、10日に駆除作業を行ったため調査は例年より遅めとなった。459沿いは夏前に1m程草刈りが実施された。

五色沼遊歩道内については五色沼モニタリング調査を参照ください。

## 調査日

平成28年 8月10日・22日・23日・27日・9月2日・3日・5日

## 調査方法

GPSを使用し面積を割り出し、地図へ落した。

猪苗代方面に向かって左右を統一して記述した。

レベル基準

- 1 10本以下
- 2 10～30本
- 3 30～100本
- 4 100本以上

## 調査範囲

- ・ 県道（猪苗代～米沢）剣ヶ峰交差点～早稲沢元スカイバレー入口跡
- ・ 県道 早稲沢～檜原
- ・ 国道459号線 磐梯朝日国立公園看板～元ゴールドライン入口跡 ・ 道の駅分岐
- ・ 県道 剣ヶ峰分岐～休暇村裏磐梯
- ・ 村道剣ヶ峰分岐～曾原～孤鷹森
- ・ 村道 五色沼入口～蛇平～小野川～グランデコリゾート
- ・ 村道 秋元湖入口～千貫橋 浄化センター・発電所周辺

## 考 察

毎回の調査により、人の侵入や工事の後で拡散し環境が適したところは繁茂していく過程が見えてくるので、レベル1～2の段階で私有地であっても、駆除しなければならぬのではと思う。私有地ならば積極的に所有者へ説明し、花芽が付く前に前年に確認

した場所を、そこが草刈できる場所ならばシーズン3回は草刈し、草刈りできない場所ならば葉に除草剤を塗布するやり方を伝えることをしていかなければならないと思う。

1～2であれば消滅すると考える。昨年は全村へのチラシ回覧をしたが、直接チラシを持参して協力を依頼する活動もしなければならぬと思う。

今年度の8月2回の駆除作業は裏磐梯のオオハンゴンソウ繁茂状態からすれば「焼け石に水」状態に思えるが、駆除地の来年の状態を調査と並行して駆除作業を継続していきたい。啓蒙活動ももちろんのこと時間と人手をかけ、計画し実践していかなければ意味がないと思うが、今年は1歩進めたのかと閉塞感からは抜け出せたのかとも思う。どうしても作業は夏の炎天下で行わなければならず、作業する側の高齢化もあり、人手の確保の方法も課題の一つである。

- 1・地区ごとへの啓蒙活動 として地区の分布図とオオハンゴンソウについてのチラシを作成し配布→3月の集落会合にて周知してもらう
- 2・地区を限定して駆除作業を実施

**調 査 者**            真野真理子 立花千秋

**駆除作業参加者**    立花千秋 鈴木正代 真野真理子 伊藤延廣 新井 徹  
遠藤和夫 長岡幸二